

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会	主 査 名 : 岡 建雄 就任年月 : 2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名 : 佐土原 聡 主 査 名 : 羽山広文
設 置 期 間	2010 年 4 月 ~ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学会規準 (AIJES) の中の環境・設備性能項目の抽出 2. IT 活用によるデータの構造化と環境・設備設計業務の合理化 3. ソーラー建築の設計評価用データの収集および設計図書の標準化 4. 学会規準 (AIJES) の中の環境・設備性能項目に関する設計資料の骨子の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 : 無 主査 : 岡 建雄 (宇都宮大学) 幹事 : 後藤謙一 (後藤デザインシステムズ)、森川元樹 (森川設計) 委員 : 相曽一浩 (矢崎エナジーシステム)、石川幸雄 (三重大学)、伊藤宏之 (テクノビジョン・インテリジェントシステムズ)、落合弘文 (高砂熱学工業)、佐野邦彦 (建築環境・設備ネットオフィス)、時田繁 (公共建築協会)、中島康孝 (建築環境・設備技術情報センター)、福田全志 (カンキョウエンジニアリング)、米山浩一 (石本建築事務所)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学会規準 (AIJES) の中のソーラー技術性能項目の抽出 2. ソーラー建築に関する設計評価用データの収集と設計図書の標準化 3. ソーラー技術の性能項目に関する設計資料の作成 	
2012 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無 : 無 委員会 HP アドレス :

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境・設備性能項目の抽出を終了 2. IT 活用によるデータの構造化の検討を終了 3. ソーラー建築の設計評価用データの収集を終了 4. 環境・設備性能項目に関する設計資料の骨子は作成
委員会活動の問題点 ・ 課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実務や対象建物との相互比較が必要 2. 実務に対する対応が必要 3. 設計図書の標準化が不十分 4. 実際の建物で評価する必要性が高い

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベルを検討する実際的な評価手法を作成することを目的とした委員会である。学会基準に対応した項目を選定し、評価方法や数値も作成したが、この評価手法を実際の建物や実施設計に適応させた検証が行われていなかった。</p> <p>そこで 2012 年下期からシミュレーションとして、実施図面をもとに評価を試みたが、評価方法や数値の修正が必要であると判断された。こうした実務や実施図面に対処できる評価方法に至らなかった点が不十分であったと考える。</p> <p>一方、使用されるエネルギー量が多いにもかかわらず、設備に特化した評価方法は世界的な見地から見ても、作成された例がなく、本小委員会の果たした役割は大きいと判断している。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。